

新風会・公明  
竹内和順  
議員



○ 選べる自治体広域連携について  
○ 勝山高校の魅力度アップについて

その他の質問

- ・市役所の職員力・組織力について
- ・地域おこし協力隊のマネジメントについて

**問** 昨年度締結した「ふく嶺北連携中枢都市圏」は、福井市中心の連携事業となつていますが、福井市以外の市町との連携は可能か。複数の自治体が連携し、行政区域にとらわれない広域な範囲での連携を図り、しかも、サービスごとに連携するパートナーを戦略的に選択する「選べる広域連携」を、逆に言えば勝山市が「選ばれる広域連携」が大事と考えるが、市の見解を伺う。

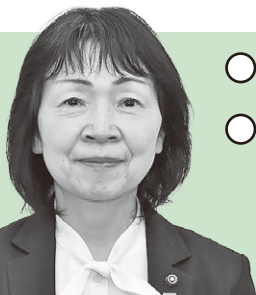
**答** ワーキング部会において事業決定を受ければ連携も可能。地方都市では人口減少、少子高齢化の進展に伴い人材や産業などの地域資源の縮小が予想される中、政策推進や住民サービス向上のために、自治体間の連携はますます重要になると考える。

今後、選ばれる勝山市の実現に向けた各政策を推進する中で、市民福祉の向上において連携自治体相互がWin・Winとなる連携を推進していく。

**問** 勝山高校の入学志願者数はこのところずっと定員割れが続いている。今後の勝山高校の存続が危ぶまれる状況である。そんな中、このほどの県議会での県教育長の「勝山高校に中学併設了承」の答弁があり、市要望が容認された。この機に、斬新なアイデアで新しい勝山高校を創る思いで、勝山高校を地域と共に盛り上げていきたい。市の見解を伺う。

**答** 今後の勝山高校にとって最大の改革となり、県と勝山市の最大の共同作業となるのは、中高併設・連携の実現であると認識している。これから更に具体的な協議に入っていくが、連携効果を最大限発揮して大きな成果を出せるよう、そして夢のある新しい中学校の誕生と、正に新しい勝山高校の創造へ向けて尽力していく。

市政会  
下道恵子  
議員



○ キャッシュレス化の子どもへの影響について  
○ 取立山登山口の冬の駐車スペースについて

その他の質問

- ・コロナワクチンの副反応への対処について
- ・小学校の高学年教科担任制導入への対応について
- ・「男女共同参画」の今後について

**問** 市ではキャッシュレス化を推奨していて、スマホなどで支払いができるお店が増えてきている。ただ、子どもには現金を持つ機会が減ること、お釣りをすぐ計算できないなどの影響があるようだ。教育の中でのお金に対する勉強の内容と、現代の子どもの金銭感覚について、市はどのように考えているのか。

**答** 小学校高学年における金銭教育では、電子マネーについて触れたり、買い物物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方について学んだりしている。家庭との連携をはかり、学校教育の様々な場面をとらえて、IT化の進む社会的変化の中でもバランスの良い金銭感覚を身につけた子どもの育成に努めていく。

**問** 冬の取立山は登りやすく眺めがよいと登山者の中では有名だが、駐車スペースが少ないために、路肩に止める車が多々あり、危険な状態である。事故が起きる前に、現在の駐車場をもう少し広げるか、他に駐車スペースを確保できないか。

**答** 東山いこいの森入口付近の国道横にある駐車場は、遊歩道利用者のために整備されたもので台数が限定的であり、天気の良い週末は国道の路肩に駐車する状況になることは把握している。付近にあった民宿跡地の駐車場を借りることも考えられるが、費用対効果の面からも難しいと考えている。

今後、安全な駐車スペースの確保に向けて、国道を管理している奥越土木事務所などと相談していく。

